

日本人間ドック・予防医療学会 認定医

2024年4月版



公益社団法人

日本人間ドック・予防医療学会

日本人間ドック・予防医療学会認定医のあり方について

日本人間ドック・予防医療学会認定医（Board Certified Physician of Japan Society of Ningen Dock and Preventive Medical Care）とは「人間ドック健診などの予防医療に携わるうえで基本的な知識と技量を有する医師」として、国民の健康保持増進に寄与することを目指すものである。

日本人間ドック・予防医療学会認定医の理念と基本方針について

「日本人間ドック・予防医療学会認定医の理念・基本方針」は「人間ドック健診専門医の理念や基本方針」に包括されるが、日本人間ドック・予防医療学会認定医は「人間ドック健診」に限定せず、健診全般・予防医療全般を対象とするものとする。

日本人間ドック・予防医療学会認定医 7か条

日本人間ドック・予防医療学会認定医は、自信と誇りをもって予防医療に携わるうえで、以下が求められる。

- ① 常に医学の進歩や変化に柔軟に対応するため、予防医療全般にわたる知識を取り込む意欲
- ② 関連学会のガイドラインや省庁からの通知、参考図書等を活用した学習
- ③ 予防医療に関わる多くの他分野専門医との連携
- ④ 医療面接・診察・検査の実施～判定・結果説明・事後指導・フォローアップなど予防医療のあらゆる場面において、受診者の健康保持増進を支援する姿勢
- ⑤ 受診者の健康に影響しうる要因を、家庭や職場の環境などの社会的な背景も含め俯瞰的に評価し、提案・指導できる能力
- ⑥ 予防医療を実践する施設内において中心的な役割を担い、施設内のスタッフ（医師・保健師・看護師・技師など）と継続的かつ密接な連携体制の構築
- ⑦ 予防医療の発展のため、研究活動への参画や、社会に対する予防医学活動への協力

※1999年度より養成を開始しました「人間ドック認定医」制度は、2022年4月より新たに「日本人間ドック学会認定医制度」として、基本方針、カリキュラム、単位制度について改定しました。2024年4月より学会新名称「日本人間ドック・予防医療学会」への変更に伴い、「日本人間ドック・予防医療学会認定医」へと名称変更いたしました。

制度の最新情報につきましては、当学会ホームページ→「資格認定等」→「認定医制度」の各項目をご参照ください。

日本人間ドック・予防医療学会認定医制度の概要

【認定について（新規）】

名 称

正式名称は「日本人間ドック・予防医療学会認定医」とします。

資 格

- ・当学会に医師個人正会員（A会員）として入会していること。
- ・本学会所定の取得単位 50 単位（指定講演の視聴含む）を満たしていること。
- ・会費を遅滞無く納めていること。
- ・人間ドック健診などの予防医療施設に従事している医師であること。
- ・上記を満たし、本学会の認定医制度委員会が承認したもの。

手続き

上記資格を満たした資格認定希望者は、毎年1月～3月の申請期間に、当学会ホームページよりオンラインまたは郵送にて申請してください。

【必須提出内容】

- ① 認定医申請書
- ② 単位確認チェックリスト（指定講演の視聴含む計 50 単位以上取得）※ご自身で単位管理ください。
当学会ホームページ→「資格認定等」→「認定医制度」
→「単位表」よりダウンロードできます。

※オンライン申請の場合は、①②の内容をご入力ください。

審 査

認定医制度委員会は、認定医申請書の届け出を受けた場合には、申請者の単位取得状況などを審査した上で、当学会理事長に推薦します。

当学会理事長と認定医制度委員長は、委員会から推薦された医師について審査を行い認定し、認定証を4月1日付けで発行します。（4月上旬頃郵送予定）

登 録

認定医制度委員会は認定医登録をします。

認定期間は申請年の4月1日より5年間とします。登録された医師は、資料送付先等、登録事項に変更が生じたときには、当学会事務局へ届け出てください。

認定料：30,000円

認定料はオンライン申請時はクレジットカード決済または振込、申請書郵送時には振込による事前支払となります。

【更新について】

資 格

- ① 更新時に認定医として当学会に医師個人正会員（A会員）として在籍していること。
 - ② 認定医資格取得後5年を経た時点で本学会所定の取得単位50単位を満たしていること。
 - ③ 会費を遅滞無く納めていること。
 - ④ 人間ドック健診などの予防医療施設に従事している医師であること。
- 上記を満たし、認定医制度委員会が承認したもの。

手続き

- ・ 上記資格を満たした更新希望者は、認定満期を迎える年の1月1日～3月末日までの申請期間に、当学会のホームページよりオンラインまたは郵送にて申請してください。
※更新の際は、認定医資格取得後、5年を経過しなければ更新手続きはできません。
(3年で50単位を取得しても、認定後5年経過しないと手続きができないため、繰り上げての更新はできません)

【必須提出内容】

- ① 認定医更新申請書
 - ② 単位確認チェックリスト（計50単位取得）※ご自身で管理ください。
当学会ホームページ→「資格認定等」→「認定医制度」
→「単位表」よりダウンロードできます。
- ※オンライン申請の場合は、①②の内容をご入力ください。

審 査

更新審査は、認定審査と同様とします。

登 録

登録については、認定時と同様とします。

更新料：10,000円

更新料はオンライン申請時はクレジットカード決済または振込、申請書郵送時には振込による事前支払となります。

付 記

- ・ 認定医認定料30,000円または更新料10,000円を認定の年度内に入金確認ができない場合は、認定医制度委員会が資格を取り消し、認定証の返還を要求することがあります。
- ・ 健診施設機能評価認定施設は、認定医を施設常勤で1人以上配置することを努力義務とします。
- ・ 医道審議会等で行政処分をされるなど、公序良俗に著しく反した事実があった方については、認定医制度委員会が認定を取り消し、認定証の返還を要求することがあります。

日本人間ドック・予防医療学会認定医 単位項目表

	項目	単位	備考
●学術大会参加・演題発表 ・研修会参加	1	日本人間ドック・予防医療学会学術大会参加	10 単位 年 1 回開催
	2	演題発表（筆頭）	5 単位 ※同一の学術大会で筆頭・共同演者として複数回発表をしても、各 1 演題分のみカウントします。
	3	演題発表（共同）	1 単位 ランチョンセミナーでの発表は単位加算の対象外。
	4	人間ドック健診認定医・専門医研修会	7 単位 年 2～3 回開催
	5	認定医制度委員会指定講演（WEB 配信） *新規申請者の場合視聴必須	7 単位 随時視聴可能（認定期間内に上限一回のみ、受講料 5,000 円）
	6	人間ドック健診情報管理指導士 ブラッシュアップ研修会（2 回まで）	7 単位 人間ドック健診情報管理指導士認定者のみ対象
●論文掲載（和文誌）	7	原著・総説（筆頭）	7 単位
	8	原著・総説（共同）	2 単位
	9	症例報告・短報（筆頭）	5 単位
	10	症例報告・短報（共同）	1 単位
	11	臨床経験・活動報告（筆頭）	3 単位
	12	臨床経験・活動報告（共同）	1 単位
●論文掲載（英文誌）	13	原著・総説（筆頭）	10 単位
	14	原著・総説（共同）	2 単位
	15	症例報告・短報（筆頭）	8 単位
	16	症例報告・短報（共同）	1 単位
	17	臨床経験・活動報告（筆頭）	6 単位
	18	臨床経験・活動報告（共同）	1 単位
査読	19	日本人間ドック・予防医療学会 和文誌 査読	5 単位 日本人間ドック・予防医療学会 学会誌（和文誌・英文誌）投稿論文の査読により加算
	20	日本人間ドック・予防医療学会 英文誌 査読	7 単位
●認定資格	21	人間ドック健診情報管理指導士	7 単位
	22	日本内科学会 認定内科医又は総合内科専門医	5 単位 ☑ 自己申請 ※単位申請する場合、申請年の 3 月末時点で有効な認定証（写）を提出ください。（オンライン申請ではアップロード、郵送時は同封）
	23	日本内科学会以外の基本領域学会専門医 及び日本外科学会認定登録医	2 単位
	24	日本医師会認定産業医	5 単位
	25	その他の研修会への参加（地域交流セミナーなど）*2023 年度より新設	*単位数は、開催されるセミナー・研修会の付与条件に準ずる

※新規認定・更新には【合計 50 単位】以上取得することが必要です。（新規認定は 5 の指定講演を含むこと）
研修会開催案内等、最新情報につきましては、当学会ホームページより→「資格認定等」→「認定医制度」の各項目をご参照ください。

単位項目の説明

※WEB 開催の研修会が増えたことに伴いシールでの単位管理は廃止しました。

※学術大会および全ての研修会で代理出席は認められません。必ず会員本人が参加・視聴してください。

※学術大会・研修会が Web 開催の場合、全ての講演を視聴後、【参加証明書】・【研修会受講証】等をダウンロードし、ご自身の控えとして申請・更新時まで保管してください。

1. 日本人間ドック・予防医療学会 学術大会 参加・・・・・・・・・・【10 単位】

●会場開催の場合、学会誌および大会 HP にてご案内する参加単位登録方法をご確認ください。学術大会に参加するには、参加登録ならびに参加料が必要です。発行された大会参加ネームカードは申請時まで必ず保管ください。

●WEB 開催の場合、配信期間中に視聴することで、10 単位の取得が可能です。視聴後に【大会参加証明書】をダウンロードの上、申請・更新時まで保管してください。

2. 3. 日本人間ドック・予防医療学会 学術大会 演題発表・・(筆頭)【5 単位】 / (共同)【1 単位】

当学会が定める申請方法に従い演題登録を行ってください。編集委員会より発表証明書が学術大会後、発行されます。筆頭演者は発表者としします。

また、発表した演題が、座長推薦に選出された場合は、是非学会誌に投稿してください。後に論文掲載されますと、演題発表単位に加えて論文掲載単位が加算されます。※同一の学術大会で筆頭・共同演者として複数回発表をしても、各 1 演題分のみカウントします。ランチョンセミナーでの発表は単位加算の対象外です。

4. 人間ドック健診認定医・専門医研修会 参加・・・・・・・・・・【7 単位】

開催案内に従い、事前に参加申し込みをしてください。研修会には別途参加費が必要です。WEB 開催の研修会は、配信期間中にすべて視聴することで、7 単位の取得が可能です。視聴後に【研修会受講証】をダウンロードの上、申請・更新時まで保管してください。

5. 認定医制度委員会指定講演【オンデマンド配信】 参加・・・・【7 単位】 2022 年度より新設

「人間ドック健診などの予防医療に携わるうえで基本的な知識と技量を学習できる」と認定医制度委員会が認めた講演です。WEB にて配信される委員会指定の講演を視聴すると 7 単位の取得が可能です。新規で認定医申請される方は視聴必須講演となります。更新の場合、5 年間の認定期間内に上限 1 回のみとなります。随時受付しておりますので、視聴方法については HP にてご確認ください。(視聴には、規定の受講料がかかります。)

6. 人間ドック健診情報管理指導士ブラッシュアップ研修会・・・・・・・・【7 単位】

人間ドック健診情報管理指導士認定者が対象の研修会です。人間ドック健診情報管理指導士資格更新のためのブラッシュアップ研修会(年 3 回程度開催)に参加すると 7 単位が加算されます。(同年度一度のみ参加可能) ブラッシュアップ研修会開催案内に従い、参加申し込みをしてください。研修会には別途参加料が必要です。ブラッシュアップ研修会参加による認定医の単位は、認定期間内において最大で 2 回分のみ加算します。

7~20. 和文誌「日本人間ドック・予防医療学会誌」・英文誌「Journal of Ningen Dock and Preventive Medical Care」論文掲載

当学会学会誌への投稿論文掲載により、筆頭著者・共同著者に各単位を加算します。また、編集委員会から依頼のあった投稿論文の査読により各単位を加算します。

21. 人間ドック健診情報管理指導士・・・・・・・・・・【7 単位】 ※

22. 日本内科学会認定内科医又は総合内科専門医・・・・・・・・・・【5 単位】 ※

23. 日本内科学会以外の基本領域学会専門医及び日本外科学会認定登録医・・【2 単位】 ※

24. 日本医師会認定産業医・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・【5 単位】 ※

25. その他の研修会への参加(地域交流セミナーなど)

・・・・・・・・開催されるセミナー・研修会の付与条件に準じます。例:地域交流セミナー【3 単位】

※21 は事務局にて管理しています。

※22. 23. 24 の資格認定は自己申請となります。申請年の 3 月末時点で有効な認定証(写)を提出ください。(オンライン申請ではアップロード、郵送時は同封してご提出ください)

その他 学習支援等

「人間ドック健診などの予防医療に携わるうえで基本的な知識と技量を学習できる」教材として、以下の活用を推奨する。

- 「人間ドック健診専門医制度専門医対象セルフトレーニング問題」
学会誌に掲載されるセルフトレーニング問題に回答し学習できます。※単位付与はなし
- 「人間ドック健診の実際」
当学会が監修している書籍です。基本知識から判定・事後指導について掲載していますので今後健診事業に従事される先生方の参考になります。当学会 HP→「書籍・パンフレット」にてご案内しています。
- 当学会ホームページ
当学会認定医制度→「各種情報」に、人間ドック健診などの予防医療に関わる各種学会のガイドラインや、関係省庁が示す情報などを今後まとめて掲載しております。

その他の注意事項

【新規資格認定申請を忘れた場合】

新規の方で申請受付期日までに資格申請を忘れた場合は、翌年の申請期間中に申請してください。50 単位を満たしていることを確認し、1 月 1 日より 3 月末日の間に申請してください。

【更新申請を忘れた場合】

更新申請を忘れた場合の措置として、2 年間の猶予があります。認定満期日より 2 年間であれば無条件で更新手続きを行いますので、50 単位を満たしていることを確認し、1 月 1 日より 3 月末日の間に更新申請してください。

【資格満期日までに単位を取得できなかった場合】

2 年間の猶予があります。この猶予期間の間に単位を取得され、1 月 1 日より 3 月末日の間に更新申請してください。2 年を過ぎてしまって単位を取得できなかった場合は認定医資格が喪失されます。ただし、医師個人正会員（A 会員）資格は継続されます。

【50 単位以上の取得単位の取扱いについて】

50 単位を超えた単位について繰り越すことはできません。認定医資格の交付(更新)時に全てリセットされ、再度 0 単位よりの取得となりますので留意してください。

【学会誌投稿や演題発表の証明書を無くされた場合】

投稿・発表記録は事務局で保管していますので問い合わせください。

【認定証を失くされた場合】

再発行をしますので、事務局に問い合わせください。再発行料は 5,000 円となります。

【認定医取得後、専門医を取得した場合】

人間ドック健診専門医の更新を優先するため、認定医の更新手続き（更新料）は不要です。（専門医の更新開始時に専門医と認定医認定証の 2 通発行します）

認定・更新申請のオンライン申請方法について

※オンライン申請の場合、申請書類の送付は不要です。↓こちらからアクセス！

<https://www.ningen-dock.jp/system/certified/method>

申請時期:毎年1月1日~3月31日

日本人間ドック・予防医療学会ホームページ→「資格認定等」→「認定医制度」→「申請方法・認定について」

申請ページは下記 QR コードから



●新規認定申請及び更新について、ホームページより下記要領にてオンラインで申請いただけます。申請時期は毎年1/1~3/31です。申請にはメールアドレスの登録が必須です。オンライン申請が困難な場合は、郵送でも受け付けます。

第〇回 日本人間ドック・予防医療学会認定医 申請フォーム(新規)または(更新)

- 認定料は事前支払となります。認定料(3万円)について申請と同時にクレジットカード決済が可能になりました。ご希望の方は「クレジットカード決済を希望する」にチェックをいれておすすみください。
- クレジットカード決済以外の方は、申請受理通知メールに記載の振込先口座宛お振込みをお願いします。
- 「第62回大会内認定医単独研修会」は「日本人間ドック学会認定医指定講演」参加としてカウントしてください。
- 「地域セミナー」を受講された方は、「和文誌投稿/臨床経験(活動報告)筆頭」の項目(3単位)に入力してください。
- インターネットエクスプローラー以外のブラウザをお使いください。(推奨:クロム、エッジ等)
- 申請受付後、E-mailにて受理通知いたします。
- 受理メールは4月初旬に認定証が届くまで必ず保管してください。
- メールが届かない場合は下記事務局までお問い合わせください。

以下の項目にご入力の上、画面下部の「確認」ボタンをクリックしてください。

*申請者

氏名(全角)
例: 山田 太郎

ふりがな(全角かな)
例: やまだ たろう

会員番号

E-mail
sinsei-ninteii@ningen-dock.jp

*送付先の変更 現在の登録に変更なし
変更あり

オンライン申請画面 ホームページから

まずメールアドレスを登録いただき、
登録いただいたメールアドレスに届いた
申請フォームから入力してください。

必須項目
ご入力ください

*取得単位数(50単位以上で申請できます)
大会参加回数などを入力ください。

	単位数	回数・有資格
大会		
日本人間ドック学会学術大会(参加)	10	<input type="checkbox"/> 回参加
日本人間ドック学会学術大会(筆頭演者)	5	<input type="checkbox"/> 回発表
日本人間ドック学会学術大会(共同演者)	1	<input type="checkbox"/> 回発表
人間ドック健診認定医・専門医研修会(参加)	7	<input type="checkbox"/> 回参加
アドバイザー		
人間ドック健診情報管理指導士(有資格)	5	<input type="checkbox"/> あり
和文誌		
学会誌 和文「人間ドック」原著・総説 筆頭著者	7	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 和文「人間ドック」症例・短報 筆頭著者	5	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 和文「人間ドック」臨床経験(活動報告) 筆頭著者	3	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 和文「人間ドック」共同著者	1	<input type="checkbox"/> 回掲載
英文誌		
学会誌 英文「Ningen Dock」(原著・総説) 筆頭著者	10	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 英文「Ningen Dock」(症例・短報) 筆頭著者	8	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 英文「Ningen Dock」臨床経験(活動報告) 筆頭著者	6	<input type="checkbox"/> 回掲載
学会誌 英文「Ningen Dock」共同著者	1	<input type="checkbox"/> 回掲載
他学会		
(社)日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医(有資格)	5	<input type="checkbox"/> あり
日本医師会 認定産業医(有資格)	2	<input type="checkbox"/> あり
	0	

申請単位項目に
回数、またはチェック☑を
ご入力ください

自動計算されます
合計【50 単位】以上必要

各種認定証のアップロード

内科学会資格(認定内科医・総合内科専門医)、認定産業医の資格を持っている方は、認定証をアップロードしてください。
アップロードできない場合は、認定証のコピーを郵送してください。(コピーは返却いたしません)

[認定証のアップロード方法はこちら](#)

アップロードされた認定証は、日本人間ドック学会の個人情報保護方針に則り厳重に取り扱っています。本申請のために確認後、速やかにサーバーより削除します。

- 認定産業医資格の認定証
- ファイルをアップロードする
 選択されていません
- 資格証(写)をFAXまたは郵送する(返却いたしません)

個人情報の取扱いについて(「個人情報の取扱いについて」をご覧ください。)
同意いただける方は、「同意する」にチェックしてください。

同意する

他学会の資格をお持ちで、単位申請される場合は、
こちらからファイルを選択し、アップロードしてくだ
さい。
PDF や JPEG 形式の画像ファイルをお送りくださ
い。

**日本人間ドック・予防医療学会認定医
新規認定・更新時の提出書類について
(郵送の場合)**

【必須書類】

- 日本人間ドック・予防医療学会認定医 認定・更新申請書
- 日本人間ドック・予防医療学会認定医 チェックリストまたは単位確認表 (ピンク色台紙お持ちの方のみ)

【任意提出書類】

※学術大会[10単位]・研修会[7単位]への参加のみで、50単位を越えている場合は、以下書類の提出の必要はございません。

- 学会誌「日本人間ドック・予防医療学会誌」掲載証明書 [筆頭7単位 (症例報告・短報5単位、臨床経験または活動報告3単位) : 共同 (原著・総説) 2単位 その他共同1単位]
- 英文誌「Journal of Ningen Dock and Preventive Medical Care」掲載証明書[筆頭10単位 (症例報告・短報8単位、臨床経験または活動報告6単位) : 共同 (原著・総説) 2単位 その他共同1単位]
- 日本人間ドック・予防医療学会学術大会 演題発表証明書[筆頭5単位 : 共同1単位]
※同一大会での複数発表は、筆頭・共同共に各1演題分のみの加算とする。
- 日本内科学会認定内科医 (総合内科専門医) 認定証コピー [5単位]
- 内科学会以外の基本領域学会専門医及び日本外科学会認定登録医 認定証コピー [2単位]
【対象専門医資格】: 小児科専門医・皮膚科専門医・精神科専門医・外科専門医 (認定登録医)・整形外科専門医・産婦人科専門医・眼科専門医・耳鼻咽喉科専門医・泌尿器科専門医・脳神経外科専門医・放射線科専門医・麻酔科専門医・病理専門医・臨床検査専門医・救急科専門医・形成外科専門医・リハビリテーション科専門医・総合診療科専門医
- 日本医師会認定産業医 認定証コピー [5単位]
 - ・ 「地域交流セミナー」を受講された方は、「和文誌投稿/臨床経験 (活動報告)」筆頭の項目 (3単位) に記入してください。
 - ・ 送付前に書類が揃っているかをご確認ください。
 - ・ なお、認定条件等に不備があった場合は別途個別にご連絡させていただきます。
 - ・ 更新の申請が受理されますと、単位は0にリセットされ、余剰単位もクリアされます。

認定・更新の申請期間は、毎年1月1日から3月31日です。

認定開始は4月1日から、認定書類のお届けは申請年度の4月上旬頃となります。

【送付先】 公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会 認定医制度委員会事務局 宛
〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル1F
TEL 03-3265-0079 FAX 03-3265-0083

個人情報の取扱いについて

1. 個人情報の利用目的
日本人間ドック・予防医療学会認定医 (認定・更新) 申請受付のため。
2. 個人情報の提供
ご本人の同意を得ないで、個人情報を提供することはありません。
3. 個人情報の委託
個人情報の取扱いの全部または一部を委託することがあります。委託にあたっては、十分な個人情報の保護水準を満たしている者を選定し、委託を受けた者に対する必要、かつ適切な監督を行います。
4. 個人情報の開示等の求めについて
個人情報の「開示等 (利用目的の通知, 開示, 内容の訂正, 追加又は削除, 利用の停止, 消去及び第三者への提供の停止の請求など) のご請求」につきましては、以下の「個人情報に関わる苦情・相談窓口」で受け付けております。
5. 個人情報提供の任意性
個人情報のご提供は任意です。ただし、必要な個人情報をご提供されない場合には、上記利用目的の業務を履行できない場合があります。

〈個人情報に関わる苦情・相談窓口〉
公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会 個人情報保護管理者
〒102-0075 東京都千代田区三番町9-15 ホスピタルプラザビル1F
TEL : 03-3265-0079 FAX : 03-3265-0083 E-Mail : info@ningen-dock.jp

日本人間ドック・予防医療学会認定医

【認定・更新】申請書（郵送用）

申請日： 年 月 日

ふりがな

申請者氏名

印

会員番号

A

認定番号

※更新の方のみ、不明の場合未記入可

所属機関

※所属機関に変更がある場合は、下記に住所・電話番号も記載ください。

施設〒

施設住所

施設 TEL

施設 FAX

認定料・更新料 振込日

年

月

日

認定料（¥30,000）・更新料（¥10,000）は事前支払となります。
クレジットカード決済またはお振込みをお願いします。
オンライン申請の場合は、クレジットカード決済が可能です。
振り込みの場合は下記振込み先をご確認ください。

【新規認定申請の場合 認定料：¥30,000】

- 郵便局窓口での振込の場合
名義（受取人）：人間ドック認定医研修会
郵便振込先：00140-4-578582
- 他の金融機関から振込の場合
カナ氏名（受取人名）：ニンゲンドックニンテイイケンシュウカイ
【ゆうちょ銀行】〇一九店（ゼロイチキュー店）・当座・0578582
- お振込み時は 会員番号・氏名を通信欄等に必ずご記載いただけますようお願いいたします。
法人名等でお振込みの場合、名義が異なる場合等はメール等にて別途ご連絡ください。

【更新申請の場合 更新料：¥10,000】

- 郵便局窓口での振込の場合
名義（受取人）：人間ドック認定医研修会 更新
郵便振込先：00130-1-463191
- 他の金融機関から振込の場合
カナ氏名（受取人名）：ニンゲンドックニンテイイケンシュウカイ コウシン
【ゆうちょ銀行】〇一九店（ゼロイチキュー店）・当座・0463191
- お振込み時は 会員番号・氏名を通信欄等に必ずご記載いただけますようお願いいたします。
法人名等でお振込みの場合、名義が異なる場合等はメール等にて別途ご連絡ください。

請求者：公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会
登録番号：T8-0100-0500-8609